

あなたの身近にいつも…アキレス

Achilles



アキレスのCSR 2015

企業理念

「社会との共生」＝「顧客起点」

「顧客起点」のもと、お客様の真の満足と感動を戴ける製品の創造とサービスの提供を通して、豊かな社会の実現に貢献する。

トップメッセージ

ステークホルダーの皆様へ 新たな発見と驚きと感動をもたらす会社へ

アキレスの企業理念の中にあっただのは、まぎれもなく「CSR」でした。

アキレスの「瞬足」シリーズは、いまや子どもたちに絶大な人気を誇るシューズブランドです。このシューズ事業に代表されるように、私たちの製品の多くは常にお客様の身近に存在しています。私たちは創業以来、「社会との共生」＝「顧客起点」という企業理念のもと、お客様の声に真摯に耳を傾け、より良いものづくりに生かすことで、地球環境や社会と共生していくことを自らの使命としてきました。つまり、CSRという言葉を意識する以前から、CSRをその企業活動の中に思考してきたのです。

CSRを高品位に追求することで、企業価値の向上を図っています。

考えてみれば、株価や売上高、ブランド力など企業を評価する基準にはさまざまなものがあります。私たちにとって大切なのは、今後アキレスの企業価値をいかに高めていくかであり、CSRを高品位に追求していくこともその一つと考えています。例えば 2016年1月、山形県金山町にウレタン加工会社を新設します。これは豊かな自然と共に生き、その資源を生かして町おこしを実践してきた金山町の考え方に共感しての進出でしたが、同時に町の過疎化や高齢化、雇用の問題に新たな選択肢を提示するものでもあったのです。このように金山町の加工会社は、まさに私たちが目指す地域社会との調和を具現化するモデルケースと言えるかもしれません。

同業他社にはない武器で、次世代への可能性を追求しています。

今でもアキレスと言えば、多くの人が「あの靴の…」と答えることでしょう。しかし、現在のアキレスをシューズ事業だけで語ることはできません。社会的課題への対応としてニーズが増加する省エネルギー関連製品、インフラ関連製品、環境対応製品、スポーツ健康関連製品など、これからの成長が期待される分野にさまざまな製品を送り出しています。そして、CSRを全社的な取り組みとして実践し、事業活動を通じて暮らしや社会、地球環境に貢献しています。多くのステークホルダーの皆様へ新たな発見と驚きと感動をもたらす会社へ。グローバルな視点で見た優位性を生かすとともに、同業他社にはないアキレスならではの素材開発力を武器に、私たちは次世代への可能性を追求し続けていきます。

2015年9月

代表取締役社長

伊藤 淳



アキレスのCSRの基本的な考え方

私たちが目指しているもの

それは、企業に社会に未来に、新たな価値を創り続けていくことです。そして、豊かで快適な社会づくりに貢献できる会社でありたいと願っています。

私たちアキレスグループは「『顧客起点』のもと、お客様の真の満足と感動を載ける製品の創造とサービスの提供を通して、豊かな社会の実現に貢献する」という企業理念を定め、持続的な成長と企業価値の創造・増大に努めています。私たちを取り巻く社会環境は、世界経済のグローバル化、地球環境保全への対応、日本をはじめ世界各地で多発する自然災害の猛威など、経験したことのないようなスピードで変化しています。このような社会環境の変化のもと、豊かで快適な社会づくりに、アキレスグループはどのような貢献ができるのか、真価が問われています。

私たちは創業以来培ってきたプラスチック加工技術をさらに向上・進化させ、お客様により身近な製品、独創性のある製品をご提案してまいります。

私たちが大切にしているもの

それは、元気に育ってほしい、いつまでも元気でいてほしいという「健康」、暮らしやすい住環境にしたいという「快適さ」、使ってみて楽しいという「楽しさ」、もっと資源を大切にしたいという「省エネルギー」をキーワードに、新たな価値の増大を追求するため知恵と工夫で製品・サービスを創造し、お客様のご要望にお応えし続けたいという思いです。

豊かで快適な社会づくりに貢献できる会社であり続けるためたゆまぬ改善を重ね、全てのステークホルダーの皆様のご信頼とご期待にお応えしてまいります。



環境のために

環境問題への取り組みは人類共通の課題

社会の持続可能な発展のために、地球環境の保全は最も重要な課題の一つです。アキレスグループでは、地球温暖化を抑制する「低炭素社会の実現」、持続可能な消費の基礎となる「循環型社会の実現」および「地域環境保全」などの各課題に対し、環境マネジメントシステムである ISO-14001 (国内全製造部門で認証取得) に基づき、環境方針ならびに環境目標を定め、継続的改善活動に取り組んでいます。



社会と共に

一人ひとりが社会の担い手

アキレスグループは製品やサービスを通じて、より豊かで快適な社会づくりに貢献することを目指しています。

そしてより良い社会の実現には、多様性への理解を含め、人権尊重が重要な要素の一つと考えています。

アキレスグループでは、全従業員が人権を尊重し倫理的な行動をするよう、「企業行動憲章」および「アキレス行動指針」を定めています。またサプライチェーンにおいても「アキレス調達基本方針」のもと、各取引先様に対して法令遵守ならびに人権尊重への取り組みを広めています。

ガバナンス

より信頼されるブランドへ

当社は「監査役会設置会社」の体制を選択しています。取締役は8人(うち、社外取締役1人)、監査役は4人(うち、社外監査役2人)です。取締役会が業務執行状況を監督し、業務執行については、各部門を担当する取締役もしくは部門長に責任と権限を与え、経営の効率的な運用を図っています。また1人の社外取締役(独立役員)が客観的・中立的観点から取締役会を通じて経営の監督機能を発揮するとともに、2人の社外監査役(うち、1人は独立役員)が取締役会に出席し、取締役会の意思決定の妥当性・適法性を社外の視点でチェックしています。

またコンプライアンス委員会を定期的に開催し、グループのガバナンス強化を図っています。

数字で見る事業での取り組み

アキレスグループは長年培ったプラスチック加工技術を応用し、さまざまな事業を展開しています。2014年度の各事業部門の取り組みと強みを、数字でご紹介します。アキレスグループは、この強みを生かした社会との共有価値の創造を、目指しています。

シューズ事業部

5,000万足



社会と共に

2014年度に「瞬足」は、発売から累計販売数5,000万足を達成しました。「もっと速く走りたい」「走る楽しさを、より多くの子どもたち感じてほしい」という二つの思いが、「瞬足」を日々進化させています。



車輦資材事業部

1/2



環境のために

当社が製造販売する航空機座席用の合成皮革製品は、一般的な天然皮革素材よりもメンテナンス性に優れ、重量も約1/2と軽量です。このため航空機の燃費向上につながるとして、使用拡大が期待されています。



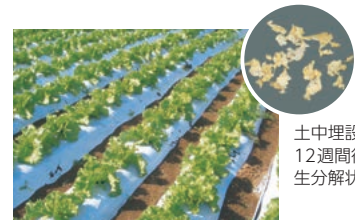
化成品事業部

25%



環境のために

当社の農業用の生分解性フィルムは、土壌中で微生物により水と炭酸ガスに分解されるので、廃棄処理も容易で環境にやさしいと評価されています。2014年度の当社シェアは約25%でした。



土中埋設試験
12週間後の
生分解状態

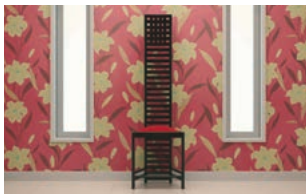
建装事業部

1.3倍



環境のために

建装事業部では、2014年度に地球の円周(赤道上)の約1.3倍の長さに対応する壁紙を出荷しました。当社は、環境にやさしい水性インクで壁紙のグラビア印刷を行っています。



引布販売部

24%



社会と共に

空気で膨らむボートやテントは、レジャー、救難、救助、防災など幅広い用途で使用されます。引布販売部は製品の24%を海外へ輸出し、消費者安全を含むCSRをグローバルなバリューチェーンに広げています。



ウレタン事業部

49%



環境のために

環境負荷低減に向け、2004年よりクリーンな液化炭酸ガスを使用した軟質ウレタンフォーム発泡を推進しています。2014年度は足利工場において、ジクロロメタン排出量を2000年度比で49%削減しました。



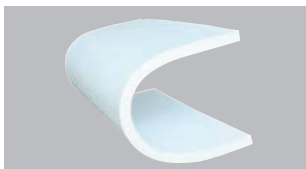
断熱資材事業部

9kg/m³



環境のために

2014年度に一般的なスチロール製品より約4割軽い「セルビー」(密度9kg/m³)を開発しました。省資源化や環境負荷軽減に貢献し柔軟性にも優れることから、緩衝材など幅広い用途での活躍が期待されます。



※本製品は(株)ウエノシステック社との共同開発品です

工業資材販売部

150t



環境のために

通常1wayで廃棄されるウエハー(半導体半製品)搬送容器と緩衝クッションを、回収・洗浄・再利用するシステムを立ち上げています。この洗浄リユース製品により、年間150トンの樹脂廃棄物を削減しました。

※国内工場および海外子会社工場を含む



開発営業部

1/40



社会と共に

当社が古いトンネルの補修や道路の拡幅盛土、陸橋の橋梁補修などに使用する発泡ウレタンの密度は、一般的なセメント系注入材や土砂の重量の1/40以下です。これにより、トンネルや道路への負荷を大幅に軽減できます。



事業内容

シューズ事業部門

シューズ事業部

キッズ、メンズ、
レディース
シューズ

KIDS
キッズ



MEN'S
メンズ



LADIES'
レディース



プラスチック事業部門

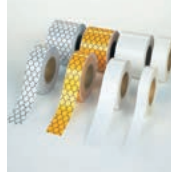
車輦資材事業部

車輦内装用資材、
一般塩ビレザー、
合成皮革など



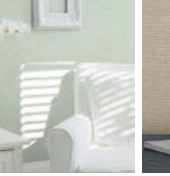
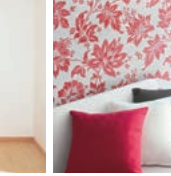
化成事業部

一般用・工業用・
農業用フィルムなど



建装事業部

住宅用内装資材



引布販売部

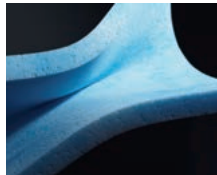
防災テント、ボート、
住宅排水管用
フレキシブル
ジョイントなど



産業資材事業部門・開発営業部

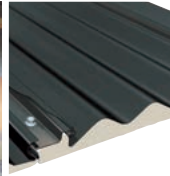
ウレタン事業部

軟質ウレタン
発泡製品、
および2次加工製品



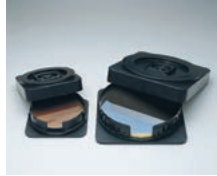
断熱資材事業部

硬質ウレタンフォーム
断熱製品、
現場発泡用硬質
ウレタンフォームなど



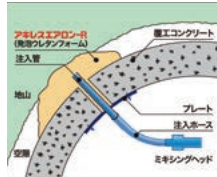
工業資材販売部

静電気対策製品、
反応射出成形品など



開発営業部

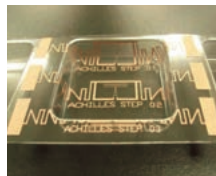
「アキレス
Tn-p工法」など
インフラ関連技術



チーム・プロジェクト

STEPプロジェクト

独自の無電解
めっき処理技術
「STEP」



全国の事業場での取り組み

アキレスは全国各地に生産・販売の拠点を展開し、地域社会の一員として地域の発展、環境負荷低減、製品やサービスを通じて社会的課題を解決することなど、企業の社会的責任を重視した経営に取り組んでいます。

滋賀第一工場

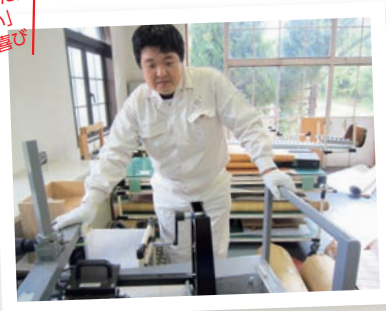
健康サポートにつながる製品開発



デザインセンター 神谷 俊宏

厚さ 2 mm の床材に数ミクロンの技術を集結し、お客様に感動を与える。私は、そんな床材を目指して製品開発をしています。高齢者の負担を軽減する床材機能を実現できれば、高齢者のみならず、多くの消費者に感動いただけるはず。住環境に注目し、健康サポートにつながる製品開発に取り組んでいます。

「掃除が楽になった」
「居心地が良い」
そんな言葉が喜び



滋賀第二工場

歩留まり向上で製品や原料のロス削減



滋賀ウレタン工場 大場 美波

技術担当として、原料配合、機械条件の見直しを行い、歩留まり向上に努めています。これにより製品や原料のロスを削減し、環境問題にも貢献できることに、社会の一員としてやりがいを感じます。結果が形となって現れるので、仕事の成果をより実感することができ、それがモチベーションとなっています。

仕事を通して
環境問題に
貢献しています



九州工場

密接なコミュニケーションで安全運転を推進



製造課 飯野 政彦

発送業務担当として、ドライバーさんと一緒に積み込み作業を行って 10 年です。今ではほとんどのドライバーさんと顔なじみになりました。日々の声掛けで丁寧かつ安全な運転のお願いをすることはもちろん、初顔のドライバーさんにも気持ちよく製品を運んでもらえるようなコミュニケーションを心掛けています。

ほとんどの
ドライバーさんが
顔なじみです



滋賀第一工場
(滋賀県野洲市)
滋賀第二工場
(滋賀県犬上郡)

九州工場
(福岡県飯塚市)

関西支社
(大阪府大阪市)

関西支社

海外生産への挑戦

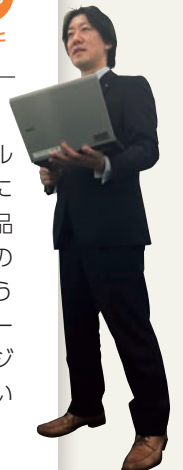


ウレタン販売部 素材課 平川 博文

「コストパフォーマンスに優れた良質な寝具をグローバルに展開したい」というお客様のご要望から、海外生産にチャレンジ。提携工場を探し、意見をぶつけ合い、商品を作り上げました。帰国時の「See you next time!」という握手には、国境を越えたパートナーと再び会えるようビジネスを拡大する、という誓いを込めました。

協力企業での構内作業風景

海外体験を通して
地域社会との
共生を実感



美唄工場
(北海道美唄市)



環境負荷低減の
ために廃棄物を
抑制します



美唄工場

地球環境にやさしい硬質ウレタンフォーム



環境の
ために

製造課 和泉 悠介

地球環境にやさしいノンフロン発泡剤を使用して、硬質ウレタンフォームを製造しています。この製品は一般住宅や大型量販店の断熱材として使用されるほか、2015年度末開業予定の北海道新幹線の駅舎と車両基地にも使われています。環境負荷低減のために不良の削減、ロス減少を心掛けています。

足利第一工場
足利第二工場
(栃木県足利市)



「顧客満足度の
高い新商品開発」
が目標です



足利第一工場

お客様満足と環境配慮を念頭に



環境の
ために

研究開発本部 岡田 有香里

開発しているアイテムは工程・工業部材などで、最終製品として表舞台に上がるものは多くありませんが、「消費者の生活を陰で支える縁の下の力持ち」となれるよう、日々業務を行っています。チームでは、バイオマスプラスチックや生分解性樹脂を用いた環境配慮を念頭に置いた開発業務にも取り組んでいます。

本社
(東京都新宿区)

本社

老朽化対策工事の取り組み

開発営業部 開発営業課 倉持 欣史

東京都の環状7号線豊玉陸橋長寿命化工事で、ウレタンLH工法とトリトンレポーWが採用されました。前者は土砂の約1/40と軽量で、複雑な形状の隙間も簡単に埋めることができ、作業装置が小さい点、後者は万が一の壁面破損時にも交換可能という管理の容易さが決め手となりました。

都道環状7号線豊玉陸橋工事現場



老朽化対策工事
への提案で
CSRに寄与します



社会と
共に

足利第二工場

輸送容器リユースで 環境負荷とコストを低減



環境の
ために

工業資材工場 西島 正敬

シリコンウエハーの搬送システムや、当社独自のプラスチック導電処理技術「STポリ」を用いた静電気対策製品の開発・製造を行っています。また海外ネットワークを活用し、ウエハー搬送容器のリユース洗浄による再生化を進め、環境負荷低減のみならず、お客様のコスト低減にも貢献しています。

静電気対策の
プロとして新たな
価値を創造します



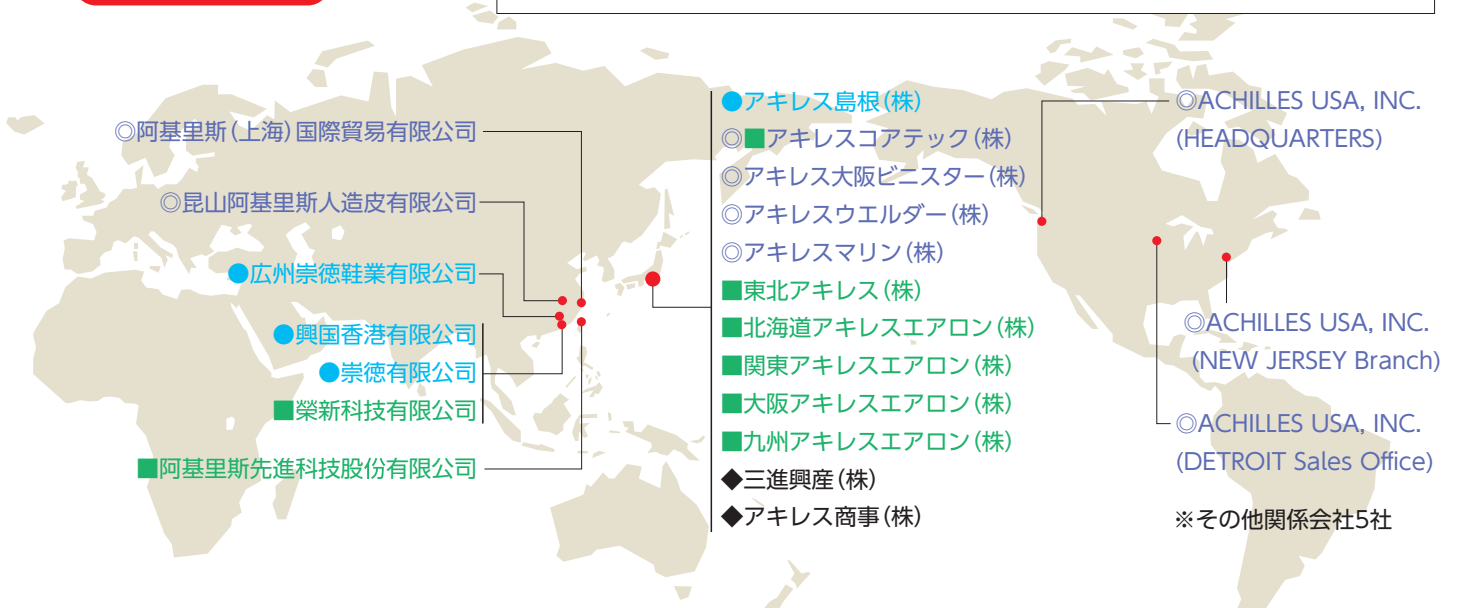
会社概要

設立 1947年5月
 代表者 代表取締役社長 伊藤 守
 資本金 146億4千万円
 従業員数 1,533人(国内グループ) ※2015年3月末
 上場証券取引所 東京証券取引所(市場第一部)
 本社 〒169-8885 東京都新宿区北新宿 2-21-1
 新宿フロントタワー

関西支社 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島 2-2-7
 中之島セントラルタワー
 営業所 北海道/仙台/新潟/北関東/東京/大阪/
 広島/九州
 工場 足利第一/足利第二/滋賀第一/滋賀第二/
 美唄/九州

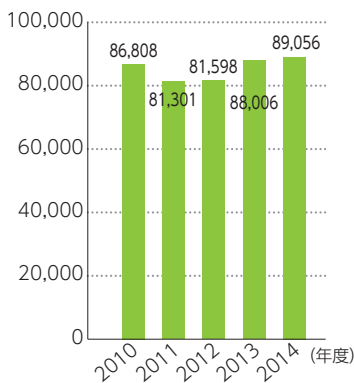
グループ会社

●…シューズ事業部門 ○…プラスチック事業部門 ■…産業資材事業部門 ◆…その他

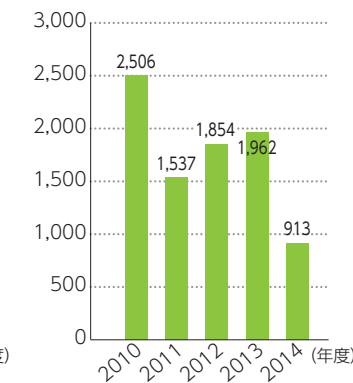


連結売上高・利益年度別推移

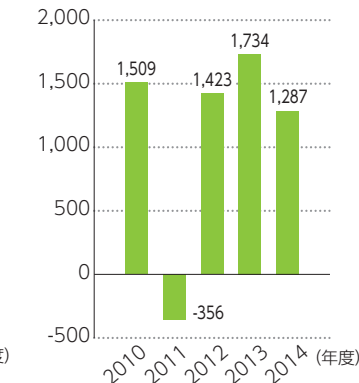
売上高(百万円)



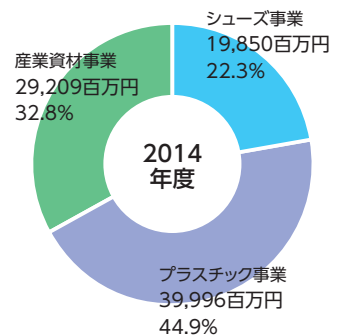
営業利益(百万円)



当期純利益(百万円)



セグメント別売上高



※その他、財務情報および大株主に関する情報は有価証券報告書をご参照ください

CSR 報告ツールについて

詳細版



PDF詳細版では、アキレスのCSRの考え方や取り組みについて、より詳細に紹介しています。

アキレスのCSR

検索

<http://www.achilles.jp/company/06/>

アキレスのCSR 2015 冊子版

発行日:2015年9月 発行:アキレス株式会社

お問い合わせ先

【広報部】
 〒169-8885 東京都新宿区北新宿2-21-1
 新宿フロントタワー
 TEL:03-5338-8224 FAX:03-5338-8230

【環境安全推進部】
 〒326-8511 栃木県足利市借宿町668
 TEL:0284-73-9148 FAX:0284-73-9854

